

**YAMAHA**

シンプルキーボード

**KB-18**



**取扱説明書**

## ごあいさつ

このたびはヤマハKB-18をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。KB-18のいろいろな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

○ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

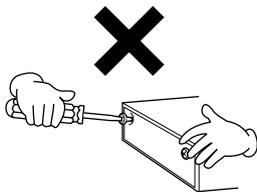
\*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

 この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。

 電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

 電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがああります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

 電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-3B)以外は使用しない。(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)

 手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

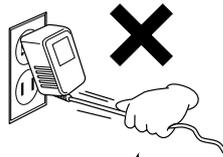
 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

# ⚠️ 注意

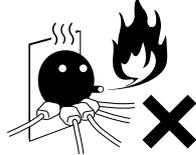
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

❌ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。  
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



❌ タコ足配線をしない。  
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



❗ 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示通りに正しく入れる。  
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのするおそれがあります。

❗ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)と一緒に使用しない。  
発熱、発火、液漏れの原因になります。

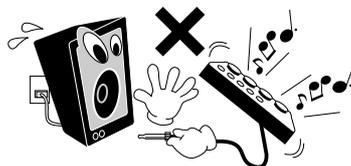
❌ 乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。  
乾電池の中のものが目に入ると危険です。また、火の中に入ると破裂するおそれがあります。

❌ 使い切りタイプの乾電池は、充電しない。  
充電すると液漏れや破裂の原因になります。

❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。  
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

❌ 乾電池は子供の手の届くところに置かない。  
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。



❌ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多い場所で使用しない。  
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



❌ 不安定な場所に置かない。  
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。  
コードをいためたたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切きましょう。  
また、使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

(4)-5

## 音楽を楽しむエチケット



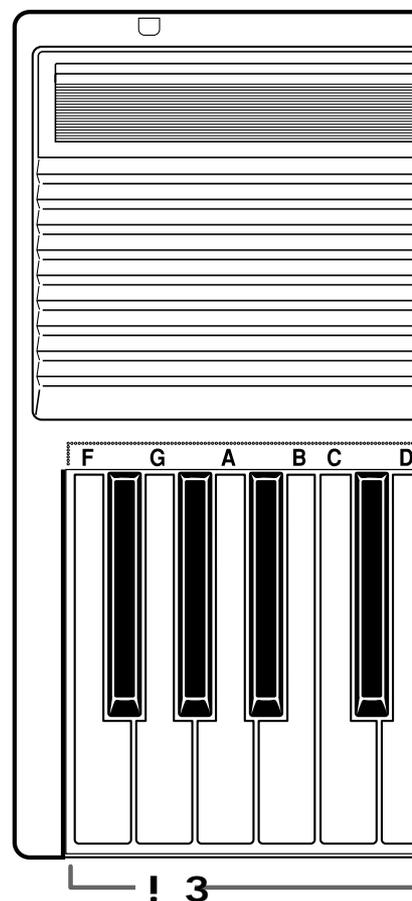
これは、日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

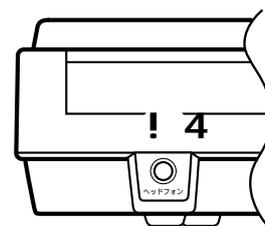
ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

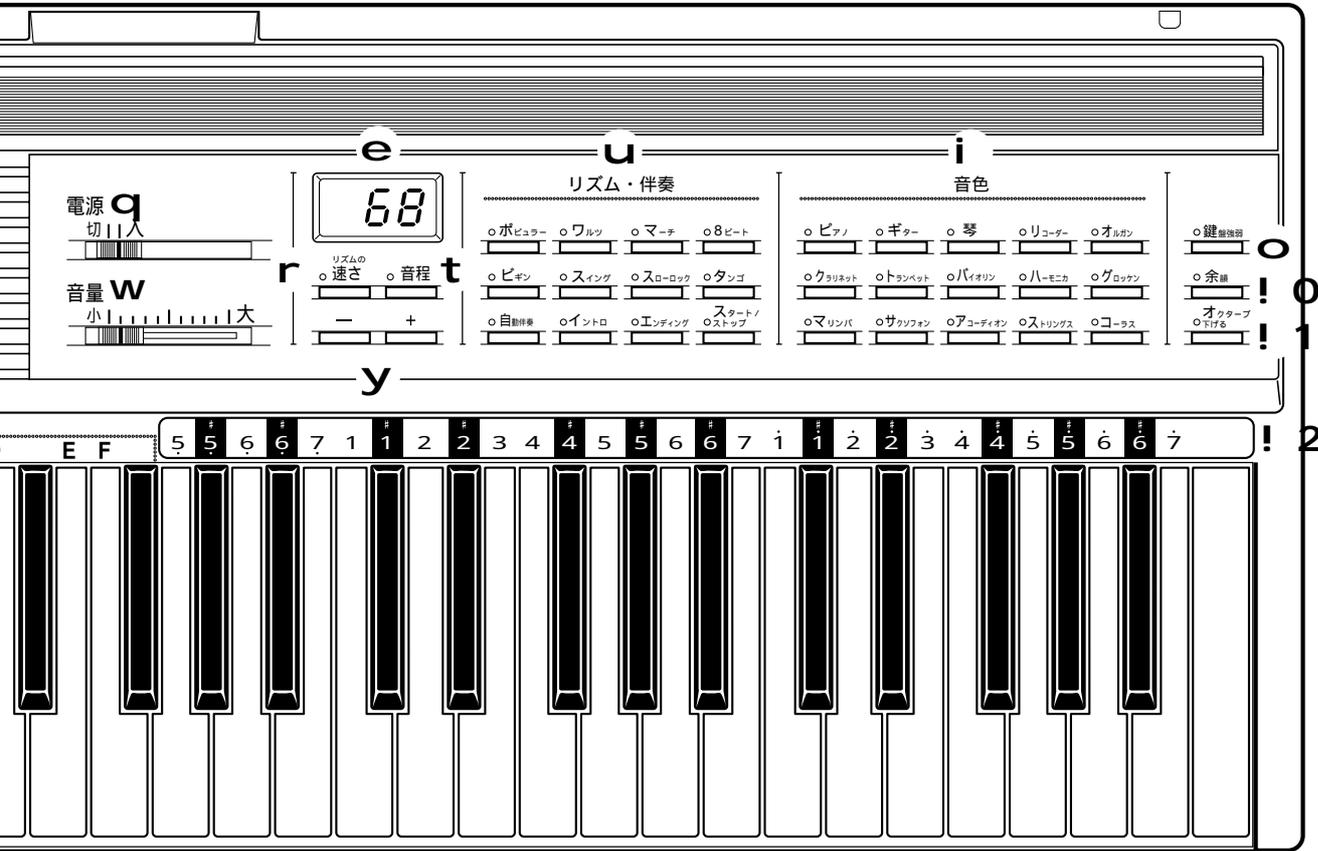
## もくじ

各部の名称.....	2
電源の準備.....	4
家庭用コンセントから電源を取るときは ..	4
ヘッドフォンを使うときは (ヘッドフォン/外部出力端子について)...	4
乾電池を使うときは .....	5
譜面立てについて .....	5
音色を選んで演奏してみましょう....	6
練習曲「茶色のこびん」 .....	6
音量を変えてみましょう。.....	7
鍵盤強弱を変えてみましょう。.....	8
余韻を付けてみましょう。.....	8
演奏音をオクターブ下げてください。...8	
音程を調整してみましょう。.....	9
リズムを鳴らしてみましょう .....	10
8種類のリズムについて .....	10
リズムの速さを変更してみましょう。..	11
自動伴奏に合わせて演奏してみましょう ..	12
イントロ .....	13
練習曲「オーラリー」 .....	14
エンディング .....	15
自動伴奏のしくみ .....	16
和音の押さえかた .....	17
和音(コード)一覧表 .....	19
資料	
故障かな?と思ったら.....	20
音程の微調整(ピッチの調整).....	21
仕様 .....	21

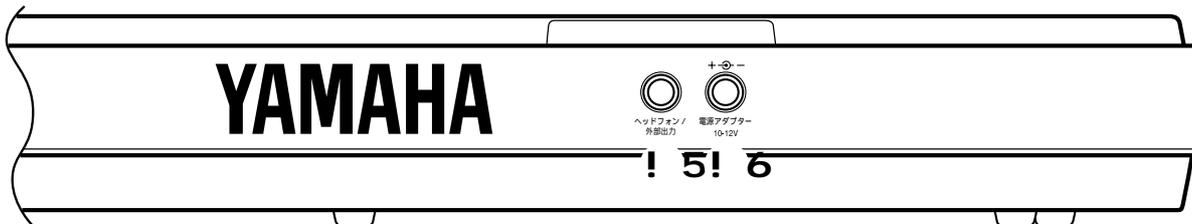


前面





背面



<b>q</b> 電源スイッチ .....	6ページ	<b>i</b> 音色ボタン .....	6ページ
<b>w</b> 音量ツマミ .....	7ページ	<b>o</b> 鍵盤強弱ボタン .....	8ページ
<b>e</b> ディスプレイ .....	9, 11ページ	<b>!</b> <b>o</b> 余韻ボタン .....	8ページ
<b>r</b> リズムの速さボタン .....	11ページ	<b>!</b> <b>1</b> オクターブ下げるボタン .....	8ページ
<b>t</b> 音程ボタン .....	9ページ	<b>!</b> <b>2</b> 数字符ガイド(ドレミガイド) .....	7ページ
<b>y</b> +/- ボタン .....	9, 11ページ	<b>!</b> <b>3</b> 自動伴奏用鍵盤 .....	12ページ
<b>u</b> リズム・伴奏ボタン .....	10ページ		

前面

<b>!</b> <b>4</b> ヘッドフォン端子 .....	4ページ
----------------------------------	------

背面

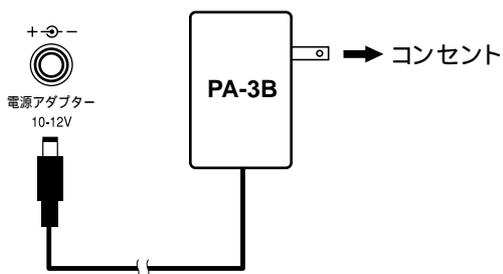
<b>!</b> <b>5</b> ヘッドフォン/外部出力端子 .....	4ページ	<b>!</b> <b>6</b> 電源アダプター10-12V端子 .....	4ページ
---------------------------------------	------	---	------

# 電源の準備

KB-18は電源として、付属の電源アダプター(家庭用コンセント使用)と乾電池の両方を使うことができます。

家庭用コンセントから電源を取るときは .....

付属の電源アダプターPA-3Bをご使用ください。



**Z** 電源アダプターのプラグを、背面の電源アダプター10-12V端子にさし込みます。

**X** 電源アダプターのACプラグを、家庭用コンセント(AC 100V)にさし込みます。

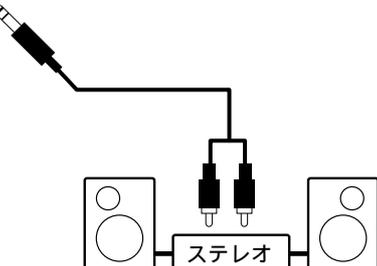
⊘ 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-3Bをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。他の電源アダプターの使用による故障は、保証期間内でも保証の対象にはなりませんので、充分にご注意ください。

## ヘッドフォンを使うときは(ヘッドフォン/外部出力端子について)

前面



背面

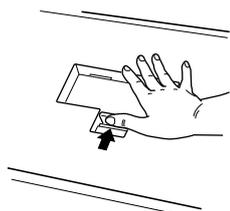


静かに練習する時や、夜間に練習する時は、ヘッドフォン(ヤマハHPE-15Q 別売 など)のプラグを前面のヘッドフォン端子に接続してご利用ください。接続すると自動的にKB-18のスピーカーからは音が出なくなります。

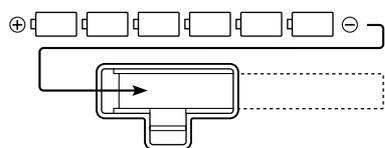
また、ヘッドフォンのプラグを背面のヘッドフォン/外部出力端子に接続すると、もう一人、ヘッドフォンで演奏を聴くことができます。この端子は音声信号出力端子も兼ねていますので、ステレオ、ラジオカセットなどの入力端子と接続すれば、KB-18の演奏を接続した機器を使って、大きな音で鳴らすことができます。

接続は、KB-18、および外部機器の電源を切った状態で行ってください。

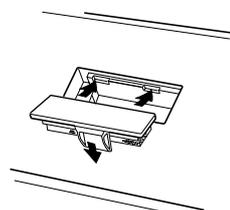
乾電池を使うときは.....



**Z** KB-18を裏返し、電池ボタンをはずします。



**X** 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



**C** 電池ボタンを閉めます。



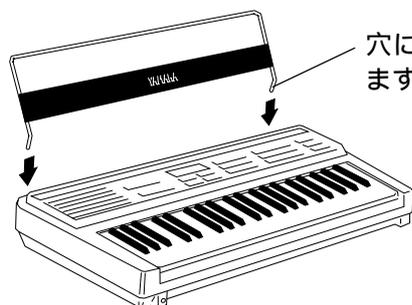
乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されている場合は、自動的に電源アダプターから電源が供給されます。

## ⚠ 注意

乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、ディスプレイ表示が暗くなったりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

- ❗ 乾電池はすべて + / - の極性表示どおりに正しく入れてください。
- ⊘ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- ❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

## 譜面立てについて



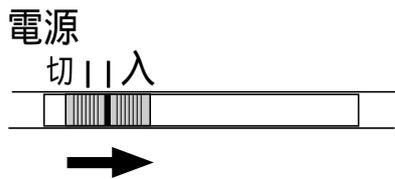
穴に差し込みます。

楽譜を見ながら演奏する場合は、譜面立てを利用すると便利です。

# 音色を選んで演奏してみましょ

演奏前に電源の準備を行ってください。( 4ページ)

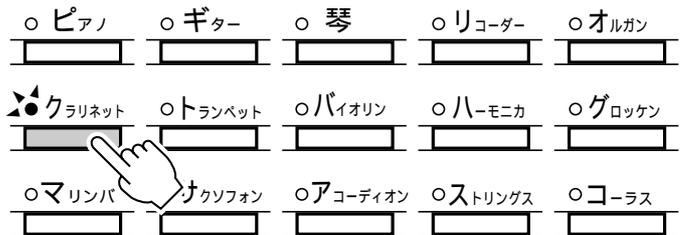
## 1 電源を入れます。



電源スイッチを「入」側に切り替えます。

## 2 音色を選びましょ。

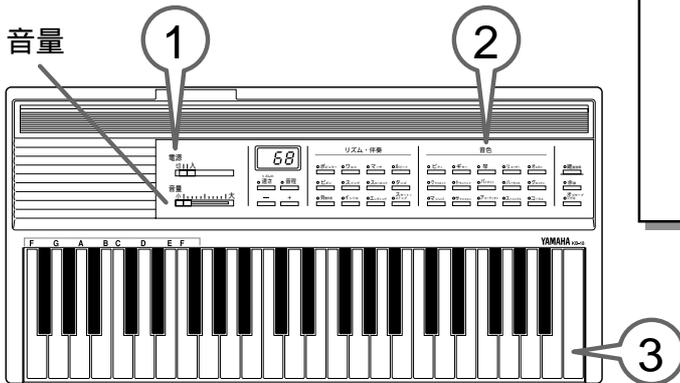
### 音色



選んだ音色のランプが点灯します。

15種類の中から、音色を選びます。  
たとえば、「クラリネット」を選ぶ場合は、音色ボタンのクラリネットボタンを押します。ボタンを押すと、その音色のランプが点灯します。

- リコーダー ..... たて笛
- グロッケン ..... 鉄琴
- マリンバ ..... 大型の木琴
- Strings ..... バイオリン、チェロ、  
ビオラなどの弦楽合奏



練習曲 「茶色のこびん」 アメリカ民謡

リズム : マーチ  
おすすめ音色 : クラリネットやリコーダー

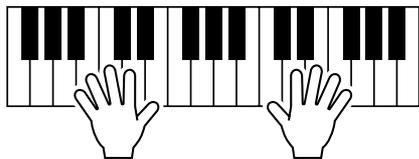
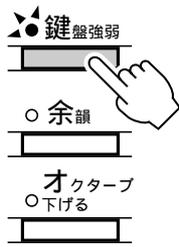
q = 100

Musical notation for the exercise "茶色のこびん". The notation is on a single staff with a treble clef and a common time signature. The key signature has one flat (F major/D minor). The notes are: C4, E4, G4, F4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The chords indicated above the staff are C, F, G, and C. Below the staff are the syllables: ミ ソ ソ, ファ ラ ラ, シ シ ラ シ, ド レ ミ. Fingerings are indicated by numbers 1-5 and bars over the notes.



# 演奏してみましょ

## 鍵盤強弱を変えてみましょう。



弱く押さえると、小さな音が鳴ります。  
強く押さえると、大きな音が鳴ります。

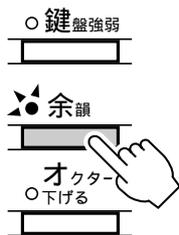
鍵盤強弱ボタンを押してランプを点灯させると、鍵盤を押さえる強弱により音量が変わるため、表現力豊かな演奏ができます。

もう一度鍵盤強弱ボタンを押すとランプが消灯し、鍵盤を押さえる強弱に関らず一定音量で演奏できます。



電源を入れると、鍵盤強弱ランプは点灯します。

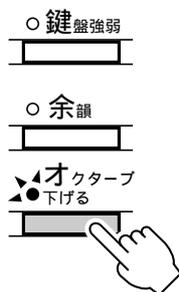
## 余韻を付けてみましょう。



余韻ボタンを押してランプを点灯させると、音に余韻が付き、響きが豊かになります。

もう一度余韻ボタンを押すとランプが消灯し、音に余韻が付かない状態に戻ります。

## 演奏音をオクターブ下げてみましょう。

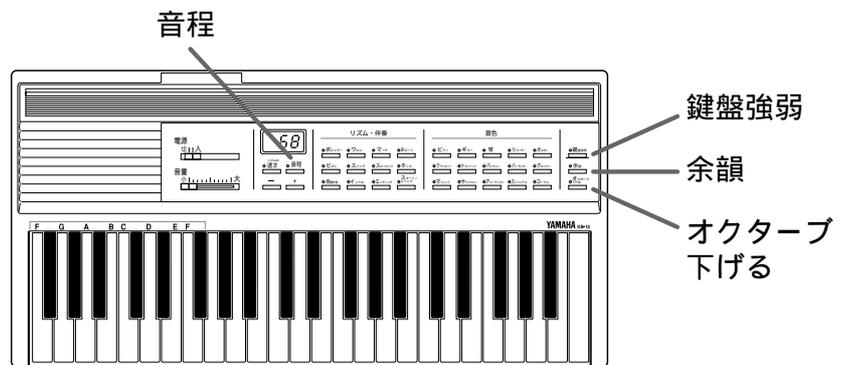


オクターブ下げるボタンを押してランプを点灯させると、演奏音が1オクターブ下がります。低音で演奏したい場合に使用します。

もう一度オクターブ下げるボタンを押すとランプが消灯し、もとの状態に戻ります。



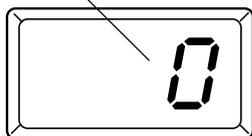
他の楽器との合奏で、低音を担当する場合、ピアノ、ギター、トランペットなどの音色を1オクターブ下げて演奏してみましょう。



## 音程を調整してみましよう。

難しい調の曲を弾く場合、楽器全体の音程を移調する(上げたり下げたりする)と便利です。また、歌の伴奏をする場合、歌う人の声の高さに合わせて、楽器全体の音程を移調することもできます。

現在の音程( - 6 ~ 6 )



- ボタンを押すと、音程が「1 (半音) ずつ下がります。押し続けると連続して下がります。

+ ボタンを押すと、音程が「1 (半音) ずつ上がります。押し続けると連続して上がります。

+ ボタンと - ボタンを同時に押すと、音程は「0 (標準音程) に戻ります。

**Z** 音程ボタンを押してランプを点灯させます。ランプが点灯すると、ディスプレイに現在の音程が表示されます。

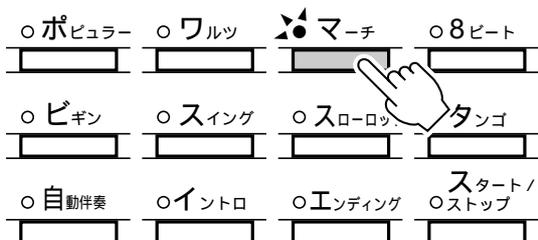
**X** + ボタン、- ボタンを押して、「- 6」から「6」(単位：半音)の範囲で音程を変更します。

# リズムを鳴らしてみましょ

KB-18は、8種類のリズムを鳴らすことができます。

## 1 リズムを選びましょう。

### リズム・伴奏



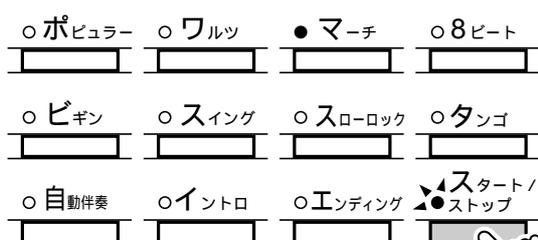
8種類の中から、リズムを選びます。たとえば、「マーチ」を選ぶ場合は、リズム・伴奏ボタンのマーチボタンを押します。ボタンを押すと、そのリズムのランプが点灯します。リズムを選ぶと、そのリズムに合った「リズムの速さ」が自動的に設定されます。

リズム / 自動伴奏の演奏中は、リズムを変えても、リズムの速さは変わりません。



## 2 スタートします。

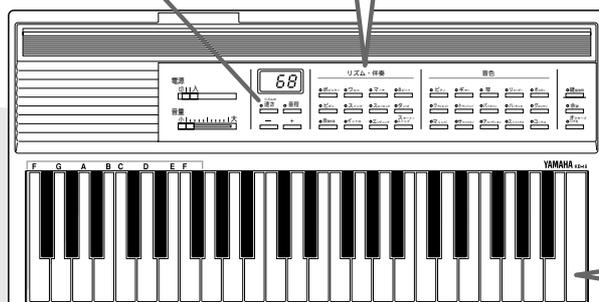
### リズム・伴奏



スタート/ストップボタンを押すと、選んだリズムがスタートします。

リズムの速さ

1, 2, 4



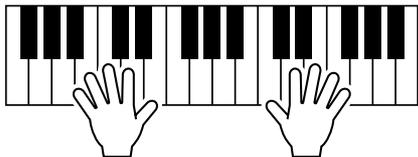
**注意：**リズムのテンポ(速さ)は、個々のKB-18の間でわずかな差があります。複数のKB-18を同じテンポに設定して同時にスタートしても、時間の経過とともにずれが生じますが、故障ではありません。

### 8種類のリズムについて

ポピュラー ..... 最も一般的な4拍子のリズムです。  
 ワルツ ..... 3拍子の代表的なリズムです。ワルツに合います。  
 マーチ ..... 2拍子の代表的なリズムです。マーチ(行進曲)に合います。  
 8ビート ..... 歌謡曲などで一般的なリズムです。  
 ビギン ..... 軽快なラテン系のダンスリズムです。

スイング ..... スイング感のあるジャズのリズムです。日本の民謡(音頭調)の曲にも合います。  
 スローロック .. スローテンポなロックのリズムです。演歌などの曲にも合います。  
 タンゴ ..... 社交ダンスで有名なタンゴのリズムです。

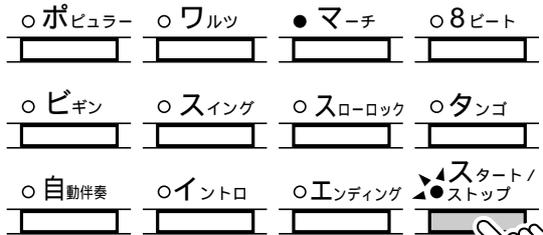
## 3 リズムに合わせて演奏しましょう。



「マーチ」のリズムに合わせて6ページの「茶色のこびん」を演奏してみましよう。

## 4 ストップします。

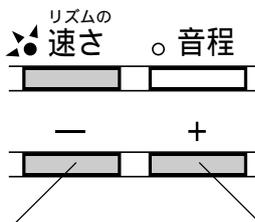
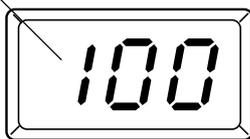
### リズム・伴奏



スタート/ストップボタンを押すと、リズムがストップします。

## リズムの速さを変更してみましよう。

現在のリズムの速さ(テンポ  $q = 40 \sim 280$ )



- ボタンを押すと、リズムの速さが「1」ずつ遅くなります。押し続けると連続して遅くなります。

+ ボタンを押すと、リズムの速さが「1」ずつ速くなります。押し続けると連続して速くなります。

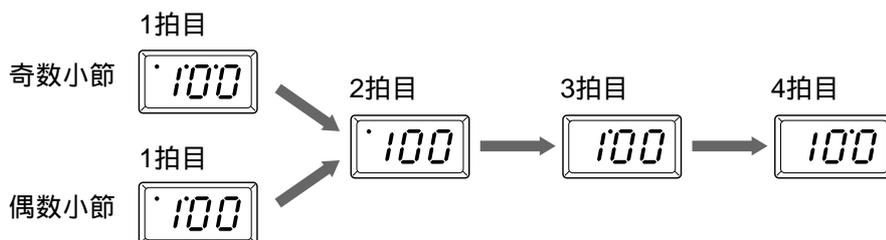
**Z** リズムの速さボタンを押してランプを点灯させます。

**X** + ボタン、- ボタンを押して、「40」から「280」の範囲でリズムの速さを変更します。楽譜などに書かれているリズムの速さを目安に変更しましよう。

+ ボタンと - ボタンを同時に押すと、選ばれているリズムに最適なテンポに戻ります。

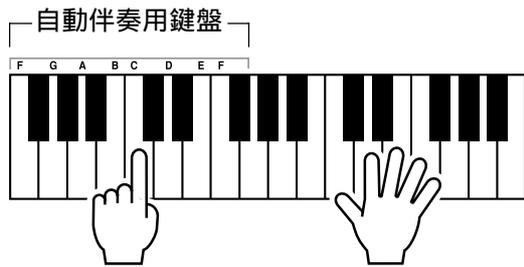
### 拍子ランプについて

リズムに合わせてディスプレイの拍子ランプが点滅します。



# 自動伴奏に合わせて演奏してみましょう

KB-18には自動伴奏機能がついています。自動伴奏は、1～3本の指で自動伴奏用鍵盤を押さえるだけで、和音(コード)が認識され、自動的にその和音に合った伴奏が演奏される機能です。



左手で和音の基本の音の鍵盤を押さえます。

右手でメロディを演奏します。

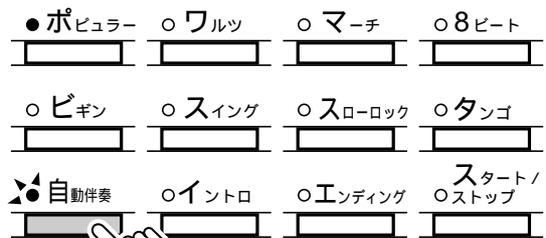
## 演奏する前に

6ページの「音色を選んで演奏してみましょう」手順2を参照して、右手(メロディ)の音色を選びます。

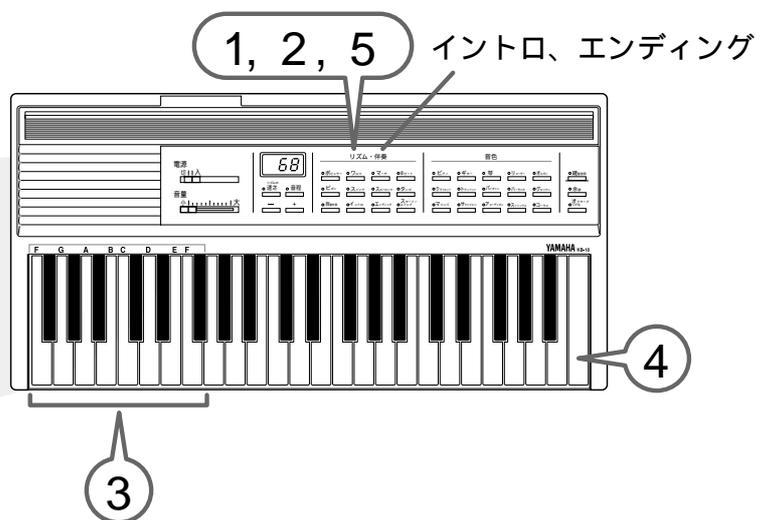
また、10ページの「リズムを鳴らしてみましょう」手順1を参照して、自動伴奏するリズム・伴奏を選びます。

## 1 自動伴奏ボタンを押します。

### リズム・伴奏



自動伴奏ボタンを押してランプを点灯させます。



## 2 スタートします。

### リズム・伴奏

.....

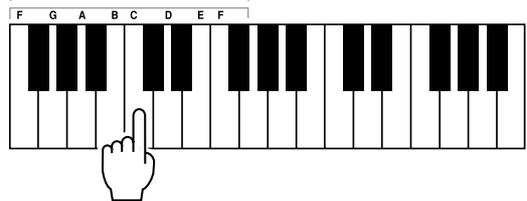
●ポピュラー	○ワルツ	○マーチ	○8ビート
○ビギン	○スイング	○スロ・ロック	○タンゴ
●自動伴奏	○イントロ	○エンディング	●スタート/ストップ



スタート/ストップボタンを押すと、選んだリズムがスタートします。この時、演奏される和音名は「C」です。

## 3 和音の基本の音の鍵盤を押さえます。

### 自動伴奏用鍵盤



自動伴奏用鍵盤で、和音の基本の音の鍵盤を押さえると、自動伴奏が演奏されます。

16ページ「自動伴奏のしくみ」参照  
17ページ「和音の押さえかた」参照

## イントロ

イントロは、曲の導入部分(前奏)を表します。自動伴奏にイントロを付けて演奏してみましょう。

### リズム・伴奏

.....

●ポピュラー	○ワルツ	○マーチ	○8ビート
○ビギン	○スイング	○スロ・ロック	○タンゴ
●自動伴奏	●イントロ	○エンディング	○スタート/ストップ

●自動伴奏	●イントロ	○エンディング	●スタート/ストップ
-------	-------	---------	------------



**Z** 自動伴奏をスタートする前に、イントロボタンを押します。(イントロランプ点灯)

**X** スタート/ストップボタンを押してスタートします。

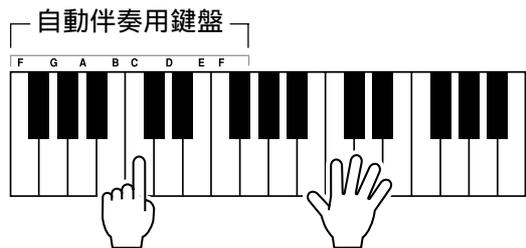
**C** 自動伴奏の前にイントロが演奏されます。(イントロ演奏が終わるとランプ消灯)



イントロは通常「C」の和音で演奏されます。「C」以外の和音でイントロを演奏させたい場合は、ZとXの間で、鳴らしたい和音の基本の音の鍵盤を押さえてください。

# 自動伴奏に合わせて演奏してみましよう

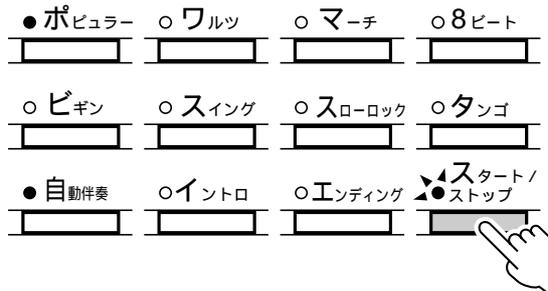
## 4 自動伴奏に合わせて演奏してみましよう。



左手で和音の基本の音の鍵盤をいろいろ押さえて自動伴奏し、右手でメロディを演奏します。

## 5 ストップします。

### リズム・伴奏



スタート/ストップボタンを押すと、リズムがストップします。

練習曲 「オーラリー」 アメリカ民謡

リズム : ポピュラー  
おすすめ音色 : ストリングス

q = 68

5 1 7 1 2 6 2 0 1 7 6 7 1 0 0 0  
ソドシド レラレ ドシラシ ド

5 1 7 1 2 6 2 0 1 7 6 7 1 0 0 0  
ソドシド レラレ ドシラシ ド

## エンディング

エンディングは、曲の終りの部分を表します。自動伴奏を最後に盛り上げて、エンディングで終わってみましょう。

### リズム・伴奏

.....

●ポピュラー	○ワルツ	○マーチ	○8ビート
○ビギン	○スイング	○スロ-ロック	○タンゴ
●自動伴奏	○イントロ	●エンディング	●スタート/ ●ストップ

**Z** 演奏の最後でエンディングボタンを押します。(エンディングランプ点灯)

**X** エンディングが演奏されて、自動伴奏がストップします。(ストップするとランプ消灯)



メモ  
エンディングは、エンディングボタンが押された時の和音で演奏されます。

リズム伴奏だけの場合も、イントロ/  
エンディングを使うことができます。



ヒント  
イントロボタン、自動伴奏用鍵盤「C」、スタート/ストップボタンの順に押し、2小節のイントロの後に演奏してみましょう。

エンディングで演奏を終わりたい場合は、演奏の最後でエンディングボタンを押してみましょう。

First example: C chord

F	G	A	B	C	D	E	F
●	●	●	●	●	●	●	●

C

3 3 3 0 3 3 3 0 3 2 1 2 3 0 0 0

≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡

Second example: A, D, G7, C chords

F	G	A	B	C	D	E	F
●	●	●	●	●	●	●	●

A

F	G	A	B	C	D	E	F
●	●	●	●	●	●	●	●

D

F	G	A	B	C	D	E	F
●	●	●	●	●	●	●	●

G7

F	G	A	B	C	D	E	F
●	●	●	●	●	●	●	●

C

3 3 4 3 2 6 2 0 1 7 6 7 1 0 0 0

≡ ≡ ファ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡

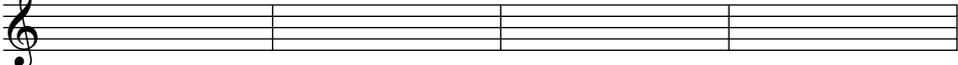
# 自動伴奏に合わせて演奏してみましょ

## 自動伴奏のしくみ

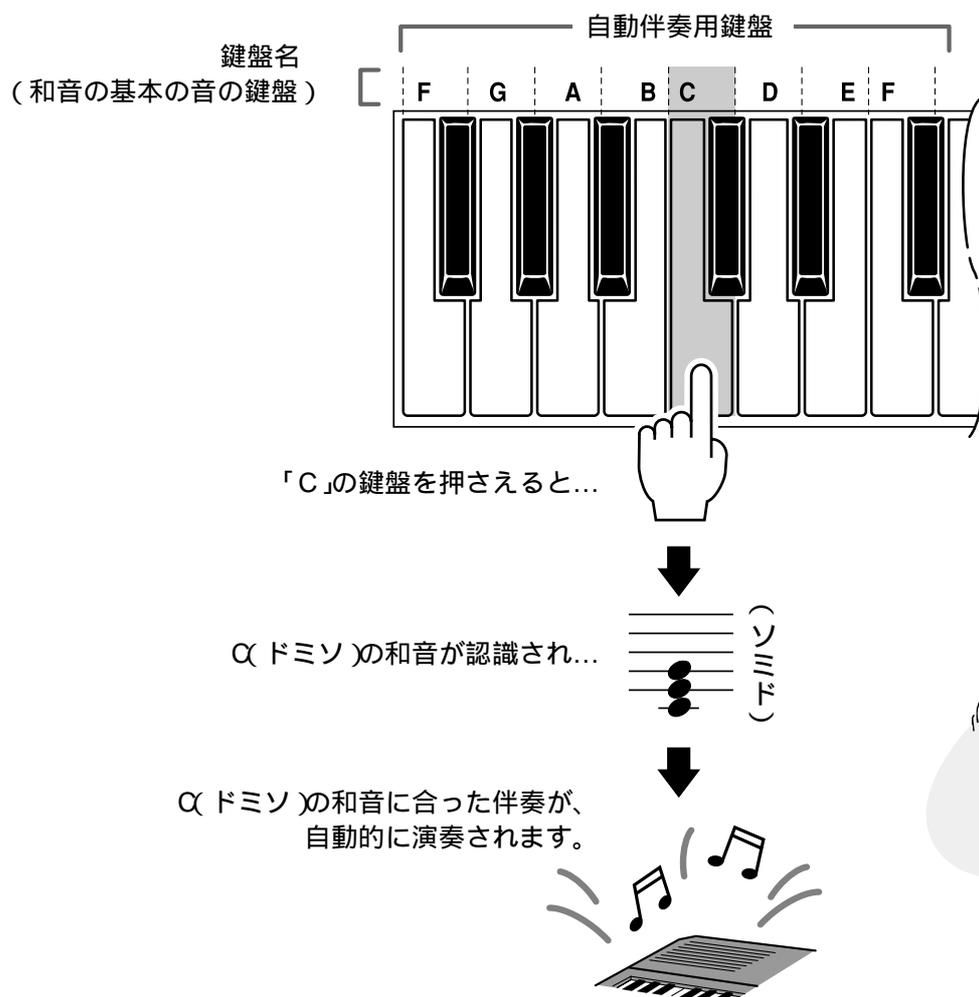
自動伴奏は、自動伴奏用鍵盤で和音の基本の音の鍵盤を押さえるだけで、その和音が認識され、自動的にその和音に合った伴奏が演奏される機能です。

和音は、複数の鍵盤を同時に押さえた時に鳴る音で、多くの場合、3~4音で構成されています。一般的に、楽譜では和音(コード)名は下記のように表記されます。

読みかた	シー	エー・マイナー	ジー・セブンス	ディー・マイナーセブンス
和音(コード)名	<b>C</b>	<b>Am</b>	<b>G7</b>	<b>Dm7</b>



例)和音(コード)Cの場合



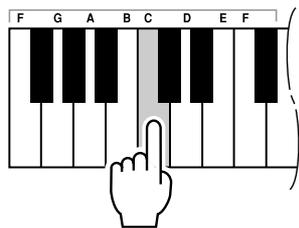
## 和音の押さえかた

楽譜の和音名にしたがって、自動伴奏用鍵盤を押さええます。

和音の種類(メジャー/マイナー/セブンス/マイナーセブンス)によって押さえ方が異なるため、下記を参考に押さえ方をおぼえましょう。

### メジャー

和音の基本の音の鍵盤を押さええます。



「C」と楽譜に書かれている場合は、自動伴奏用鍵盤の「C」を押さええます。

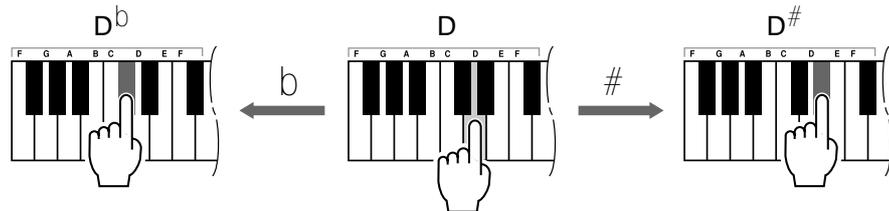
楽譜に「C」「G」などのように、アルファベットの和音名だけ書かれた和音を「メジャーコード」と呼びます。

メジャーコードは明るい響きを持ったコードです。

アルファベットの和音名に「#(シャープ:半音上げる)」や「b(フラット:半音下げる)」記号が付いている場合

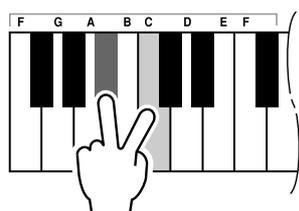
#(シャープ)..... 和音名が書かれている白鍵の右隣の黒鍵を押さええます。

b(フラット)..... 和音名が書かれている白鍵の左隣の黒鍵を押さええます。



### マイナー

和音の基本の音の鍵盤とその左側の黒鍵を同時に押さええます。



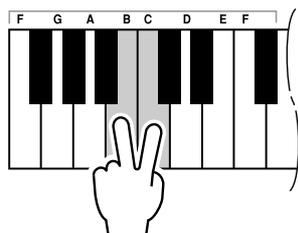
「Cm」と楽譜に書かれている場合は、自動伴奏用鍵盤の「C」とその左側の黒鍵を同時に押さええます。

楽譜に「Cm」「Gm」などのように、アルファベットの和音名と小文字の「m」の組み合わせで書かれた和音を「マイナーコード」と呼びます。

マイナーコードは暗い響きを持ったコードです。

## セブンス

和音の基本の音の鍵盤とその左側の白鍵を同時に押さえます。



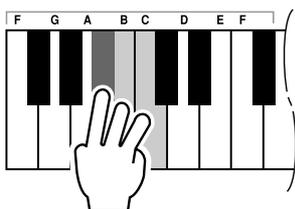
「C7」と楽譜に書かれている場合は、自動伴奏用鍵盤の「C」とその左側の白鍵を同時に押さえます。

楽譜に「C7」「G7」などのように、アルファベットの和音名と数字の「7」の組み合わせで書かれた和音を「セブンスコード」と呼びます。

セブンスコードは、メジャーコードに対して和音の響きに変化をつけることができるコードです。

## マイナーセブンス

和音の基本の音の鍵盤と、その左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえます。



「Cm7」と楽譜に書かれている場合は、自動伴奏用鍵盤の「C」とその左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえます。

楽譜に「Cm7」「Gm7」などのように、アルファベットの和音名と小文字の「m」、さらに数字の「7」の組み合わせで書かれた和音を「マイナーセブンスコード」と呼びます。

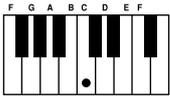
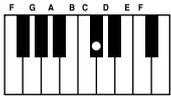
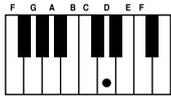
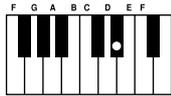
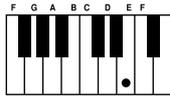
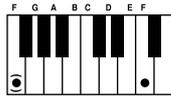
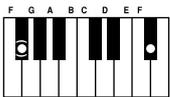
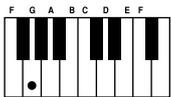
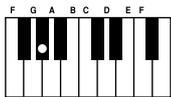
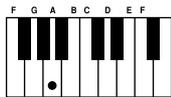
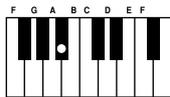
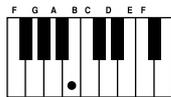
マイナーセブンスコードは、マイナーコードに対して和音の響きに変化をつけることができるコードです。



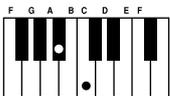
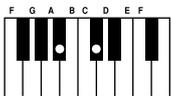
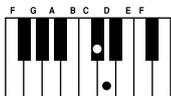
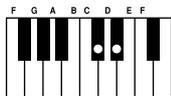
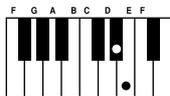
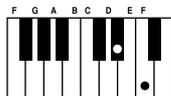
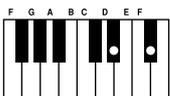
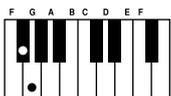
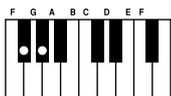
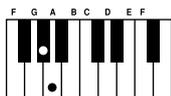
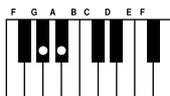
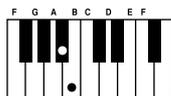
# 自動伴奏に合わせて演奏してみましょう

## 和音(コード)一覧表

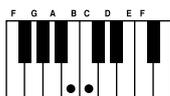
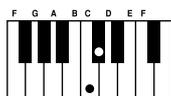
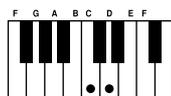
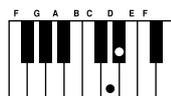
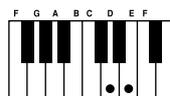
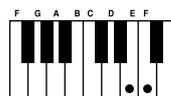
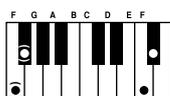
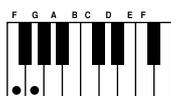
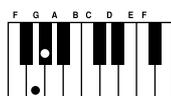
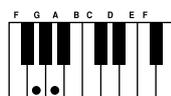
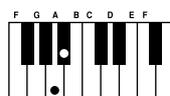
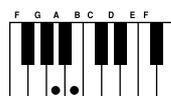
メジャー ..... 和音の基本の音の鍵盤を押さえます。

C	C#/D <sup>b</sup>	D	D#/E <sup>b</sup>	E	F
					
F#/G <sup>b</sup>	G	G#/A <sup>b</sup>	A	A#/B <sup>b</sup>	B
					

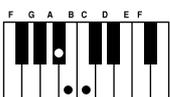
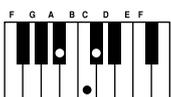
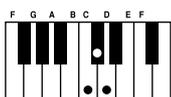
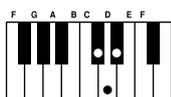
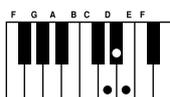
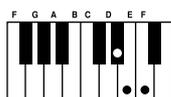
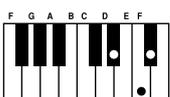
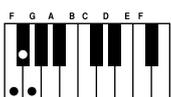
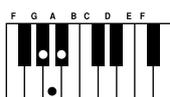
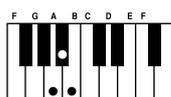
マイナー ..... 和音の基本の音の鍵盤と、その左側の黒鍵を同時に押さえます。

C <sup>m</sup>	C <sup>#m</sup> /D <sup>bm</sup>	D <sup>m</sup>	D <sup>#m</sup> /E <sup>bm</sup>	E <sup>m</sup>	F <sup>m</sup>
					
F <sup>#m</sup> /G <sup>bm</sup>	G <sup>m</sup>	G <sup>#m</sup> /A <sup>bm</sup>	A <sup>m</sup>	A <sup>#m</sup> /B <sup>bm</sup>	B <sup>m</sup>
					

セブンス ..... 和音の基本の音の鍵盤と、その左側の白鍵を同時に押さえます。

C <sup>7</sup>	C <sup>#7</sup> /D <sup>b7</sup>	D <sup>7</sup>	D <sup>#7</sup> /E <sup>b7</sup>	E <sup>7</sup>	F <sup>7</sup>
					
F <sup>#7</sup> /G <sup>b7</sup>	G <sup>7</sup>	G <sup>#7</sup> /A <sup>b7</sup>	A <sup>7</sup>	A <sup>#7</sup> /B <sup>b7</sup>	B <sup>7</sup>
					

マイナーセブンス ..... 和音の基本の音の鍵盤と、その左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえます。

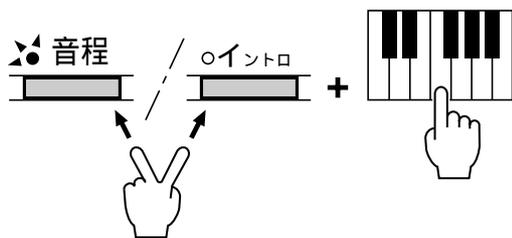
C <sup>m7</sup>	C <sup>#m7</sup> /D <sup>bm7</sup>	D <sup>m7</sup>	D <sup>#m7</sup> /E <sup>bm7</sup>	E <sup>m7</sup>	F <sup>m7</sup>
					
F <sup>#m7</sup> /G <sup>bm7</sup>	G <sup>m7</sup>	G <sup>#m7</sup> /A <sup>bm7</sup>	A <sup>m7</sup>	A <sup>#m7</sup> /B <sup>bm7</sup>	B <sup>m7</sup>
					

# 故障かな？と思ったら...

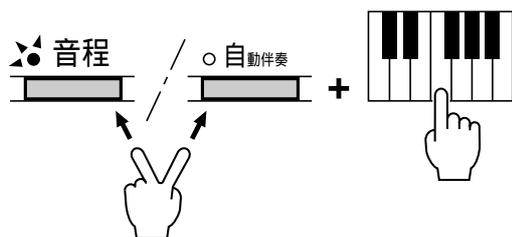
現象	原因	解決方法
電源を入れた時に、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
ディスプレイ表示が暗くなる。	乾電池が消耗しています。	乾電池をすべて交換してください。
音が出ない。	ヘッドフォン端子に、ヘッドフォンなどが接続されています。	ヘッドフォンを抜いてください。
	音量つまみが下がっています。	音量つまみを「大」の方に動かしてください。
音色ボタンで選んだ音色と違う音色が鳴る。	自動伴奏ボタンが押されています。(ランプ点灯)	自動伴奏ボタンを押して(ランプ点灯) 伴奏をスタートさせずに自動伴奏用鍵盤を押さえると、伴奏用の音色が鳴ります。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	同時に鍵盤を押さえ過ぎです。同時に鳴らせる音数には制限があります。	KB-18の最大同時発音数は28です。リズムや自動伴奏の演奏を含めて最大28音の範囲で鳴らすことができます。
リズム・伴奏が鳴らない。	スタート/ストップボタンを押していない。	スタート/ストップボタンを押してください。
	自動伴奏ボタンを押していない。	自動伴奏ボタンを押してください。
和音(コード)がうまく変わらない。	新しい和音を押さえる時に、前に押さえた鍵盤を離していない。	和音を変えるときは、いったん鍵盤から指を完全に離し、新しい和音をしっかり押さえます。

# 音程の微調整(ピッチの調整)

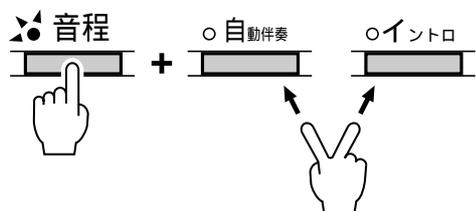
他の楽器と合奏する場合、音程を微調整する(設定範囲 - 50 ~ 50セント、50セント = 1/2半音)ことができます。



音程ボタンを押しながらイントロボタンを押して、さらに鍵盤を押さえるとピッチが1セント上がります。押さえ続けると連続で上がります。



音程ボタンを押しながら自動伴奏ボタンを押して、さらに鍵盤を押さえるとピッチが1セント下がります。押さえ続けると連続で下がります。



音程ボタンを押しながら自動伴奏ボタンとイントロボタンを同時に押すと音程は「0(標準音程)」に戻ります。

## 仕様

鍵盤	レギュラー44鍵(F1 ~ C5)
最大同時発音数	28音
音色	15種類
効果	鍵盤強弱、余韻、オクターブ下げる
音程	13段階(-6 ~ 6半音)
ピッチチューニング	-50 ~ 50セント
音量コントロール	音量ツマミ
リズム・伴奏	8種類
自動伴奏	シングルフィンガーモード
リズムコントロール	スタート/ストップ、イントロ、エンディング
リズムの速さ	Q = 40 ~ 280
付属端子	電源アダプター10-12V、ヘッドフォン/外部出力
アンプ実用最大出力	
電源アダプターPA-3B使用時	4.6W(EIAJ)
乾電池使用時	4.6W(EIAJ)
スピーカーインピーダンス	4

スピーカー	12 cm x 1
使用電池	単1乾電池(1.5V) x 6
電池寿命	マンガン電池で約20時間 (自動伴奏連続使用: マスターボリューム約60%)
使用電源アダプター	PA-3B
消費電力	18W(電源アダプターPA-3B使用時)
寸法(幅 x 奥 x 高mm)	640 x 320 x 80 mm
重量(kg) 乾電池含まず	3.3 kg
付属品	取扱説明書、保証書、電源アダプターPA-3B、譜面立て、数字符ガイド
別売品	
KB-18専用ケース	KBC-180A ¥ 11,000
ヘッドフォン	HPE-150 ¥ 4,000

商品の金額に、消費税は含まれておりません。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

## ● 保証書

本機には保証書がついています。  
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。  
下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## 消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

## ● 補修性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## ● 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。  
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

## ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆ ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL. 03-5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL. 06-6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL. 087-822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2134
[本社]CSセンター	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL. 053-465-1158

## ◆ この楽器に関するお問い合わせ窓口

### 国内楽器営業本部 音楽普及統括部 社会音楽事業推進プロジェクト

北海道地区	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6120
東北地区	〒980-0804	仙台市青葉区大町2丁目2-10 住友生命ビル	TEL. 022-222-6144
東京/関東地区	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-1674
東海地区	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL. 052-201-5326
近畿/四国/中国/沖縄地区	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL. 06-6647-6774
九州地区	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2135
PA・DMI事業部 EKB営業部 CL・PK営業課	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL. 053-460-3275

住所および電話番号は変更になる場合があります。

## ◆ インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>



この取扱説明書は  
エコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)を  
使用しています。



この取扱説明書は  
大豆油インクで印刷しています。

# ヤマハ株式会社

M.D.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation  
© 1996 Yamaha Corporation